

第3回 昭島市公民館運営審議会記録

令和2年12月11日（金）

午後6時30分～

アキシマエンス 会議室

（出席者）山崎会長、星野委員、佐々木委員、井ヶ田委員、宮里委員、三木委員

菅原委員、久保委員、高橋委員

（事務局）吉村館長、遠藤事業係長、山本管理係長

1、会長、館長挨拶

2、第2回定例会記録の確認

3、アキシマエンスを見学

4、報告事項

（1）東京都公民館連絡協議会委員部会について

【委員】

・11月25日小平市中央公民館にて第8回都公連委員部会を行った。令和3年開催の都公連研究大会の第4課題別集会で事例報告を行う町田市と国立市から事例を発表してもらった。第4課題別集会のテーマは「緊急事態宣言後の公民館のあり方 ～公民館の基本活動の本質を求めて～」であり、コロナで公民館が閉館していた際にいったい何が出来たのかということを考えて。町田市からは「マニャミンとマナブウのオンライン学習」ということで町田市生涯学習センターの職員が発表した。国立市は「障害者青年教室のLINE 活用例」ということで公民館で行っている青年講習のスタッフが発表した。

・令和3年2月10日より都公連研究大会動画やレポートがホームページにて配信開始となる。

・令和3年10月に第60回関東甲信越静公民館研究大会を予定している。

（2）公民館主催事業について

【事務局】

・12月21日に公民館利用者連絡会と公民館の共済事業で行っている公民館の課題などに関する学習会を開催する。テーマが「新しい生活様式と公民館の役割」である。

<事業報告>

・男女共同参画セミナー「働くパパママ必見の講座！～これで仕事と育児の両立は大丈夫～」

コロナ禍ということもあり、なかなか参加者が集まらなかった。また、開催時間を午後にしてしまったことも参加者が集まらなかった原因だと考えられる。この内容を子育てセミナーに組み込み、もう少し長いスパンで開催できるとよかったかもしれない。

＜東京都公民館連絡協議会研究大会について＞

都公連研究大会第1課題別集会を12月19日に公民館小ホールで行う。参加者は、都公連加盟市の公民館職員、公運審委員を各1名ずつ参加してもらう予定である。助言者には東海大学准教授の二ノ宮リムさちさん、事例報告者にSDGsいたばしネットワーク代表の加藤勉さんに来ていただく。

【会長】

保育園に講座の紹介を依頼するのではなく、保育園の保護者会などで当事者と直接つながることが大切である。また、公民館の登録団体と連携することでも参加者を増やすことはできると思う。

5、小ホール特例的利用について

令和3年度6月分申請団体

申請団体：TYC

他団体の申請がないため承認

- ・実施日：令和3年6月13日（日）
- ・使用区分：午前、午後1、午後2
- ・内容：定期演奏会

【事務局】

来年にはほぼ全てのアキシマクジラの化石が昭島市に里帰りをするようになった。頭など新種と証明できた部分に関しては研究が続けられる。展示など詳細については未定である。

【会長】

本日はアキシマエンシスの見学会ということもあり、これで終わりにする。ありがとうございました。